

平成21年 2月25日(水)

特別号

# 市川新聞

(討議資料)

発行所  
市川かずひろの会  
藤沢市川名181-18 B1001  
TEL 0466-24-4871  
E-mail ichikawa.kazuhiro@jcom.home.ne.jp  
(定期発行)

## いまもあしたも 誇れる藤沢であるために 市川かずひろ一期目の挑戦

### 市川かずひろ 37歳

昭和46年 4月 8日 藤沢市鶴沼神明に生まれる  
おひつじ座 B型 長男  
昭和53年 3月 六会幼稚園 卒園  
昭和53年 4月 六会小学校 入学  
昭和62年 3月 湘南台中学校 卒業  
平成 2年 3月 日大藤沢高校 卒業  
サッカー部所属  
平成 6年 3月 日本大学 法学部  
経営法学科 卒業

平成 6年 4月 大和工商リース(株)入社  
平成10年 6月 政治の世界を志し、  
衆議院議員甘利明事務所入所  
経済産業大臣秘書  
公設第二秘書  
平成19年 4月 藤沢市議会議員初当選  
党派 ふじさわ自民党  
所属 文教常任委員会委員  
議会活性化検討会委員  
現在 川名パークアリーナ在住

### ご挨拶

皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。平成十九年四月に当選させていただいてから、自身の信念に基づき議員活動をしてまいりました。その間、多くの皆様にご指導、叱咤、激励をいただいたことは大変心強く、心から厚く感謝申し上げます。今年で議員として丸2年が経つわけでありますが、ここまで私自身が議会の場でどのような発言をしてき



たか、またこれからのような取り組みをやりたいのか等々、素直に新聞としてまとめさせていただきましました。ご一読賜り、皆様からも是非ご意見、アイデアを頂戴できればと思っております。

皆様の日頃のご厚情に感謝を申し上げますとともに、これからも初心を忘れず活動してまいりたいと考えております。どうぞご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

藤沢市議会議員  
市川 かずひろ

是非ご参加ください。

### 市川かずひろ 市政報告会・懇談会

と き：4月18日(土) 午後6:30～  
と ころ：藤沢市藤沢109番地 湘南NDビル  
藤沢産業センター6階  
TEL 0466-21-3811  
会 費：2,000円(当日会費)

2年間の活動報告をさせていただきながら、皆様からも忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。どうぞお気軽にご参加くださいますよう宜しくお願い申し上げます。



前回会員集会にて

### 議会活動報告



私は藤沢市議会議員に立候補させていただいた際に右記リーフレットの考えをもとに行動致しますとお約束致しました。

### 市川かずひろの一般質問！

#### 平成十九年九月議会 (仮称)藤沢市自治基本条例について

藤沢市として自治基本条例をつくるにあたり、どういうまちづくりを目指していくのか、先例市の制定後の運用状況や条例の効果を市としてどのように捉えているのか、また、より良い条例制定のために関係機関との情報共有をどのように連携していくのかについて質問しました。

この質問の趣旨は藤沢市で最高位に位置するであろうこの条例の策定過程が市民に見えてないこと。この条例の有無が先進自治体ランキングの基準項目にあるのですが、今の現状の中で制定されても、条例づくりそのものが題目に過ぎなくなってしまう事に対して警

鐘を鳴らすためでありました。昨年、(仮称)藤沢市自治基本条例策定検討委員会の皆様が一昨年半年かけて討議を行った最終報告書が市長に手渡されました。今後市として立法化に取りかかるとなると思いますが、市民の皆様にも是非注視して頂き自分のまちのルール作りにご意見をいただきたいと思っております。

#### 平成十九年十二月議会 藤沢市の産業振興施策について

戦後五十年、日本は一貫してキヤッチアップ型の経済社会システムをとり続けた結果、生活水準の向上が実現する一方、それに伴い産業の高コスト構造が定着しました。私はたとえ高コスト構造であっても勝ち抜ける藤沢市の産業構造を作



キャンプ座間にて

また、ふるさと納税については本市のこの制度の捉え方については、危機管理体制については本市で退職自衛官を採用し、防災計画の立案や大地震時の情報収集、関係機関との連絡調整にご活躍いただけるのではないかと、市の考えをお聞きしました。コンテンツ産業振興については国のコンテンツ促進法を紹介しながら、本市のフィルムコミッション事業の充実を見てもコンテンツ産業の土壌が多分にあることを説き、本腰を入れた取り組みを質問をいたしました。

平成二十年六月議会 地球温暖化対策推進計画、ふるさと納税、危機管理体制、コンテンツ産業振興について質問

今、環境の時代と言われるのですが、私たちは今こそ、電気、ガスをはじめ

市当局からは藤沢版についてはキッザニア東京をそのまま藤沢に再現するというのではなく、藤沢市独自の職業体験、社会体験をテーマとした体験学習拠点として市内外の企業にも協力をいただきながら、将来



藤沢市長の「マニフェスト」の中に「藤沢版キッザニア」の創設とありましたとありました。私にとっても大変興味がありましたので内容を確認する意味も込めて質問しました。質問要旨は藤沢版キッザニアの藤沢版というものはどのようなものをイメージしているのか。私は藤沢ならではの受けとめをしていきますが考えを聞かせてください。それとどのような職業を体験させ何を学ばせたいのか。創設後、学校等での活用についてどう考えているのか。



柏崎原発にて

(裏面へ続く)

藤沢市議会議員

# 市川かずひろが行く!!



▲問い合わせや陳情、わからないことは役所や同僚議員と共に確認します。



▲甘利明 行革担当大臣と! 困ったときにはいつも相談させていただいております。



『市川かずひろ』のホームページ

市川かずひろ

検索

でご検索下さい。

<http://www16.plala.or.jp/ichikawakazuhiro/index.html>



▲日大校友会の行事にも積極的に参加。母校の名を汚さないように頑張ります。



▲餅つき大会に防災訓練。地域でのコミュニケーションがいに大事か、改めて思います。



▲ミニ集会や座談会を通じて市民の生の声を聞かせていただいています。私の議会発言の原動力です。



▲議員会館や各省庁は情報の宝庫です。常に情報収集し、藤沢市にとって有益な情報を持ち帰ります。



▲私の住んでいる川名地区において要望がありました信号機、横断歩道の新設に対し、県並び、警察に要望。3月末を目途に設置されることになりました。



▲街頭で市政報告。多くの皆様に声をかけられ大変勇気づけられます。



▲心身ともに健康に小さい頃から親しんでいたサッカーもたまには…



▲国松誠神奈川県議員と現地調査



▲神奈川県少林寺拳法連盟藤沢同院顧問、藤沢左宮組合顧問、藤沢市バドミントン協会会長、他各団体の顧問としても活動させていただいております。

を担う子供たちに生きる目標や働く喜びなどを見つけて出してもらい、子供たちが主体的に生きていく力を身につけるための施設と考えている。学校の活用については時間や費用、授業カリキュラムの内容を勘案し検討との答弁をいただきました。

平成二十年十二月議会  
マンシヨンの知的財産の活用について質問

マンシヨンの増加に伴い市の防災計画、対策というものがマンシヨンの防災を包み込んでいないかという観点からマンシヨンの居住者が地震発生時に心がけておかなければならない課題について市としてどう考えているか。市でもマンシヨンの防災マニュアルを作成してありますが、更に踏み込んでよりわかりやすく、いつでもどこでも入手でき、マンシヨンの住まいの方がいつでも目に触れられるようにすることが重要と考えているが市の考えは。

市当局からは現行のマンシヨンの防災マニュアルを更に分かり易いようにするために先例市の事例を参考にイラスト中心で検討。マンシヨンのエレベーター掲示板等への掲出が出来るパンフレットの作成をしていきたい。

本市においても、知財の活用に対する取り組みを地道にやられているということとは承知しておりますが、今までの経過を見ても、知的財産制度を活用させること、あるいは発展させるということは、ただ企業にとりか、市場にとりかというだけでは十分に広がっていか

こちらで閲覧出来ます。

**藤沢市議会**  
**ホームページ**

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/gikai/>

市当局からは知財については知的財産を活かせる町を目指してまいりたいと答弁をいただきました。

そこで、私は、それを具体化するには、より一層の行政の明確な方向性を示していくこと、もしくは明確な計画を立てていくことが必要と考えており、その辺のところを踏まえて、本市の知的財産の活用についての考え方を聞かせたい。

二月の定例議会も終わりました。二月は予算議会ということで私自身、予算等特別委員会の委員として質疑、提案をさせていただきました。これらの報告は次回「市川新聞」でいたしました。

藤沢市財政も厳しい状況になっております。今の行政サービスを維持しながら、更に市民ニーズに応えていくには、税の確保をどうしていくか。ここに尽きるのではないかと思います。私は景気に左右されない産業の創出と、藤沢で住み続けたいと思っていただけるような藤沢ならではのまちづくりがこれからの課題であると考えます。ひとつずつ問題解決に向けて努力してまいりたいと思っております。これからもご指導を賜りますようお願い申し上げます。

お声をかけてください!

日々、様々な活動・勉強をさせていただき皆様のお役に立てよう全力で行動していきたいと考えております。市政に対する皆様のご意見またはお気づきの点等ありましたら、お気軽にお声をかけてください。

お問い合わせ先  
**市川かずひろの会事務所**  
TEL/FAX: 0466(24)4871  
メール: [ichikawa.kazuhiro@com.home.ne.jp](mailto:ichikawa.kazuhiro@com.home.ne.jp)

▲お気軽にお声をかけてください!

以上が私が一般質問で発言した内容です。なかなか全部を掲出できませんが、ご不明な点等ありましたらご一報いただければと思います。

皆様におかれまして是非藤沢市議会にも足をお運び下さい。

**編集後記**

二月の定例議会も終わりました。二月は予算議会ということで私自身、予算等特別委員会の委員として質疑、提案をさせていただきました。これらの報告は次回「市川新聞」でいたしました。